

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		大学等入学支援事業		担当課	教育総務課	担当係	企画調整係	管理番号	70162	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市大学等入学資金融資条例、深谷市教育資金利子補給金交付要綱				
	小項目	1	「生きる力」を育む学校教育の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		大学等に入学する者の保護者等に対し、金融機関からの融資の利子の一部を助成（利子補給）することで、保護者の経済的な負担軽減を図るものである。								
目的 ※何のために		教育の機会均等及び保護者の経済的な負担の軽減を図り、もって教育の振興に資することを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		大学等に入学する者の保護者								
手段 ※どのように		入学資金等の借入額に対し、利子の一部を助成する。								
成果 ※何を求めるか		保護者の経済的な負担を軽減することにより、大学等への進学率向上に寄与する。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	1	教育総務費	1	教育委員会費	大学等入学支援事業	418,750
本事業の 主な業務		・ 周知 P R							・	
		・ 申請受付							・	
		・ 決定通知送付							・	
		・ 利子差額分支給							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		※令和7年度は決算見込み額です。					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		給付申請受付利子補給	給付申請受付利子補給	給付申請受付利子補給	給付申請受付利子補給		
事業費	予算（現額）	630,000	755,000	754,000	702,000	702,000	
	決算額	560,312	462,731	573,447	418,750	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	560,312	462,731	573,447	418,750	702,000
人件費	従事職員数（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.19	
	人件費相当試算※	786,956	801,017	822,225	847,710	1,673,613	
総事業費試算		1,347,268	1,263,748	1,395,672	1,266,460	2,375,613	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
		目標値の算定根拠/実績値の出所 実績値の算出式							
活動指標 1	利子補給申請者数	目標値	人						
		実績値		25.00	20.00	21.00	16.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値の設定をすることは、制度の趣旨に合致しないため / 両制度申請者数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	利子補給者数	目標値	人						
		実績値		25.00	20.00	21.00	16.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値の設定をすることは、制度の趣旨に合致しないため / 両制度支給者数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	利子補給額	目標値	千円	0.00					
		実績値		560.00	463.00	573.00	419.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値の設定をすることは、制度の趣旨に合致しないため / 両制度支給額						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	利子補給申請者数は、前年度と比べて5名減少した。 (令和6年度実績 利子補給申請者数…21名)
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	申請者全員に対し審査を適切に実施し、補助金を支給することができた。

評価者 企画調整係長 竹内 祐子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	申請書の提出は持参もしくは郵送で受け付けており電子申請は不可としているが、個人からの補助金の申請であるため、適切に事務が行われている。

評価者 企画調整係長 竹内 祐子